

新宮山彦ぐるーぷ第2019回12

春季連休中の行仙宿への来宿者の対応と補修作業など

◇実施日：2019年04月30日(火) ～5月02日(木)

◇参加者：30日 川島 功、生熊敏男、沖崎吉信、濱野兼吉、

竹中卓治、奥村順夫、梶野照雄。

1日 沖崎吉信、濱野兼吉、竹中卓治、奥村順夫、

瀧本昭太郎。

2日 沖崎吉信、濱野兼吉、瀧本昭太郎、志岐 敬、

山本直子、梶野照雄、畑林秀味、畑林清子、

大江徳子、中川治平。

参加者14名、延22名。

第一日目 四月三十日(火) 曇り後雨 (来宿者28名)

平成最後の日、元号が革められるので今年のゴールデンウィークは10連休となつて、かなりの小屋予約が予想された。

4月に入りやはり違う、昨年、一昨年とは全然違う、ほぼ毎日電話が入り多い日は三件・四件とある。最終的には5/18の熊野修験40人を含めて53組170人に達した。例年予約申込者は利用の2割から3割までの感覚あるので、飛び入り者がどれだけいるのか不安である。

今日は、沖崎、濱野、竹中、奥村の4人が担当。11時半頃に小屋に入る。今日と明日は雨予報で、午前中は何とか降られず来れたが、小屋着後から雨となつた。

小屋には、持経宿からの縦走者が5人程、雨であり今日はここで停滞すると決め込んでいた。

14時前に梶野君が荷揚げ、入れ替わりに前半担当者の川島、生熊さんが下山する。

夕方は来宿者で混み合うことも予想されるので、片付けやら食事の準備、小屋から管理棟へ、管理棟から小屋へ何回も往復し段

取完了。

15時頃から17時過ぎまで、ほぼ切れ目なく到着、16時過ぎには20人位になっている。

先着から5名に濱野君先導で水汲み行って貰う、その後も順次水場へ、空タンクも全て満タンになる。

奥村君もビール、コーラの販売に忙しい、17時には25名位になったか、まだ来るのか小屋に入れるのかヒヤヒヤだ。

17時前に挨拶をさせてもらった「情報として明日の天気予報、お願いとして、あと何人か来るだろう皆さんのスペースを詰め、その方々の寝床が確保できる協力をして下さい。志納金を忘れずに」と、そして最後に、今日は平成最後の日、明日は令和元年最初の日、元号も変わり夜中の0時には元号またぎとなる。

大峰のこの行仙宿小屋で、その歴史的瞬間を皆さんとおおいに祝おう、皆さんも私も一生忘れられない思い出になるだろうと言申し上げた。

持参した「おでん」を皆さんに提供した。ビールとコーラが良く売れた、こんなもんかと少々驚く。最終28名の来宿になつた。夕方、18時前に管理棟に移り一杯、就寝となった。



来宿者に情報・お願いなど挨拶



管理棟で夕食

第二日目 五月一日(水)「令和元年最初の日」 曇り後雨

(来宿者18名)

早朝より小屋で見送り、6時前後頃をピークに一人二人と半乾きの雨衣で出発する。

雨が降っていないが、今にも来そうだが、7時前簡単に朝食を済ませる。7時半より奥村君には室内整理、通過者の対応をお願いし、沖崎、濱野、竹中の3人で左記の作業を行った。

- ① 管理棟北側の行仙岳への登り口にデポの丸太5本を補給路の21番鉄塔近くに運ぶ。
- ② 林道登山口にデポしている下北山村寄贈の丸太28本をモノレール終点へ運び上げる。
- ③ その28本を11本は終点にデポ、14本を補給路15曲の現場に降ろし、残3本を中の峪下の峪修復に使用。
- ④ 下の峪と中の峪で各1カ所道崩れ防止作業を行った。

中の峪で作業中に瀧本氏が上がって来られた。彼はご存知の通り紀伊半島の山、三角点への造詣が深く、又道作りなどの土木的作業にも経験豊富だ。何よりもありがたいのは、我々の活動にも強く理解していただいていることだ、彼の加入で一段とスピードアップした。雨も来だし昼も近くなり作業を終えた。



中の峪下の道崩れ補修と作業終了

小屋に戻ると奥村君は、毛布を全てたたみ直し、宿内もきれいに整理していてくれていた。

昼食後、順次縦走者が雨の中到着する。水汲みのお願ひ、寝場所の位置、濡れてドロドロとなった雨具の事など一人一人に対応した。

この日は最終的には18人の利用となる。17時前、昨日同様大峰や行仙宿への来訪お礼、諸注意やらお願いなど申し上げた。

18時頃管理棟へ移り一杯就寝とした。尚、奥村・竹中の両君は、この日一泊二日協力いただき、14時過ぎ頃に下山した。

この日もトラブル、事故、苦情も無く、大半の方からお礼、感謝の言葉をいただいた。

尚、瀧本氏は、本日帰りて四ノ川林道の詰めに三角点のある「槇の塔山」踏破予定も小屋の多忙が気になった様で、「槇の塔山」は明日にして手伝うとの申し出をいただいた。

第三日目 五月二日(木)

早朝より登山者を見送る。今日は山本、志岐両氏にバトンタッチするので、小屋内の整理などで忙しい。梶野君との打合せで10時半過ぎ登山口に着くので、モノレールを降ろし荷上げ手伝い頼むと話しあつて、濱野君と二人で10時過ぎモノレール終点地へ降りる。



三角点踏査へ



荷上げ



快晴の下の行者堂

コーラ、ビールに加えて、志岐さん冬用キスリングには、食材や着替え、又電気炊飯器まで入っついていて25kg以上あるとのこと、5人で手分けして持ち、昼前に小屋へ入る。持込日の整理や通過者への対応など両氏への引継ぎ事の説明で忙しい。

それにしてもコーラが良く売れる。通過者のほぼ全員が飲んで行く、ビールも発泡酒ではなく100円高いスーパードライを所望する新発見だ。

濱野君は明日茶臼岳く雨谷山への登山準備もあるので、まぐろのせせり・カマを差し入れして下さった日帰り組の畑林秀味・清子、中川、大江さん達4人と一緒に14時前に下山した。



本日の参加者



行仙宿から下山



登山口に到着

(記：沖崎、写真：梶野、濱野)